

組み立てが簡単で美しい

鯉のぼりセット

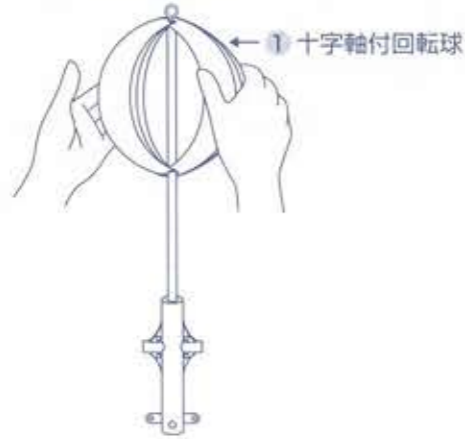
組立・使用説明書

H-03

部品明細

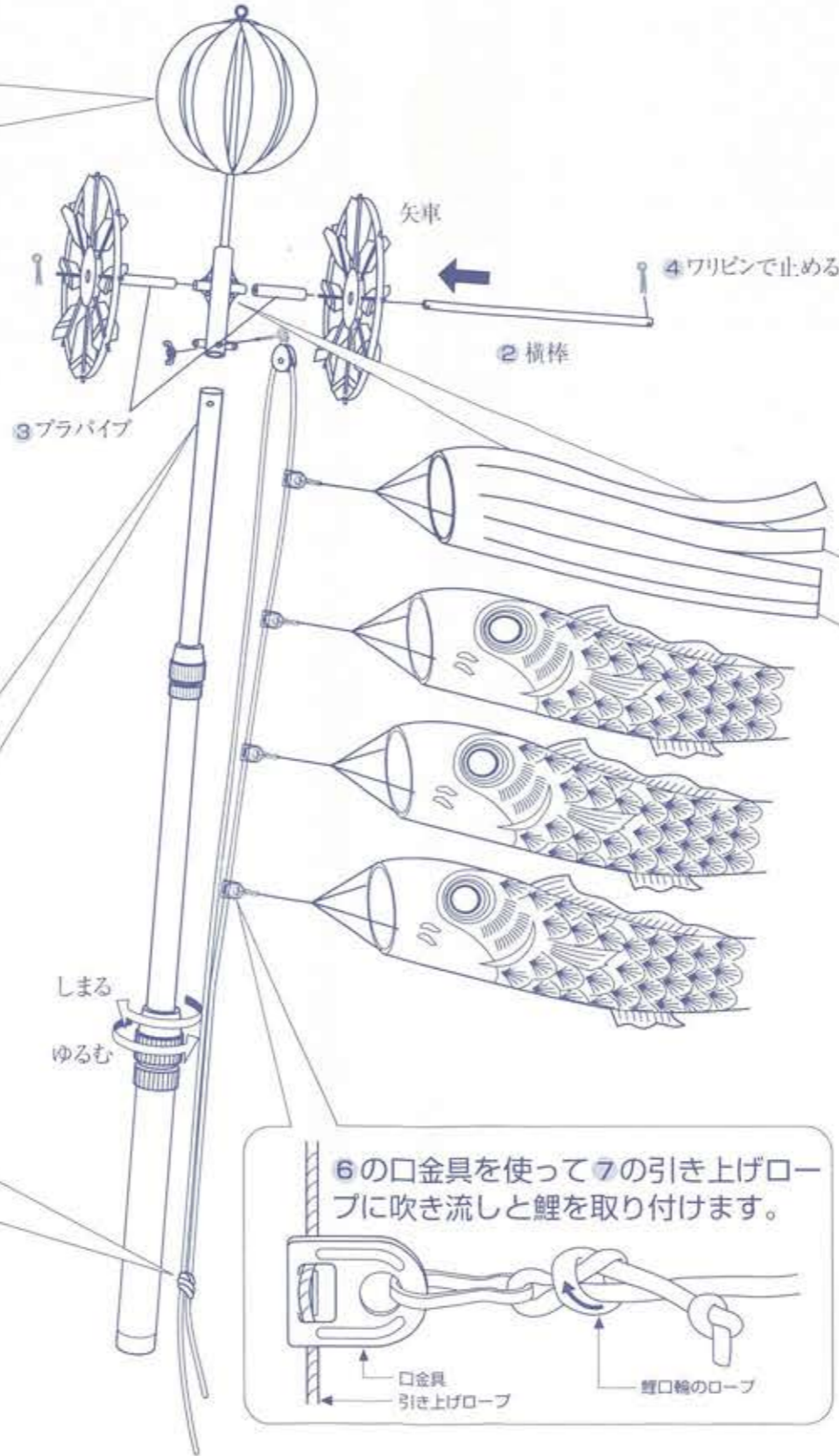
回転球の組立

①の十字軸付回転球を広げます。



ポールの先端から各段最後まで伸ばして締めて下さい。
 図は3本継ぎのものですが、4本継ぎのポールもあります。

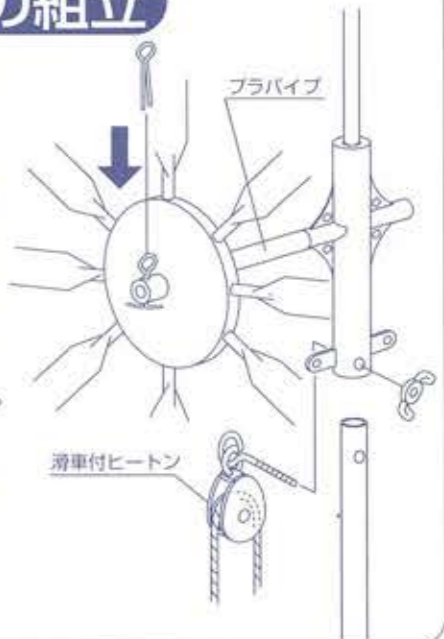
ロープの先を結びポール受金具又は手摺にしっかり結び付けて下さい。
 ※ポール受金具の組立は別紙をご参照下さい。



- ① 十字軸付回転球……1ケ
- ② 横棒……1ケ
- ③ プラパイプ……2ケ
- ④ フリピン……2ケ
- ⑤ 滑車付ヒートン……1ケ
(蝶ナット付)
- ⑥ 口金具……4ケ
(ボール受金具の中に入っている場合もあります。)
- ⑦ 引き上げロープ……1ケ

矢車部分の組立

②の横棒を①の十字軸付回転球に差し込み、左右に③のプラパイプと矢車を入れて④のフリピンを差し込み曲げて固定します。
 ⑤の滑車付ヒートンで矢車部分とポールをつないで下さい。



注意

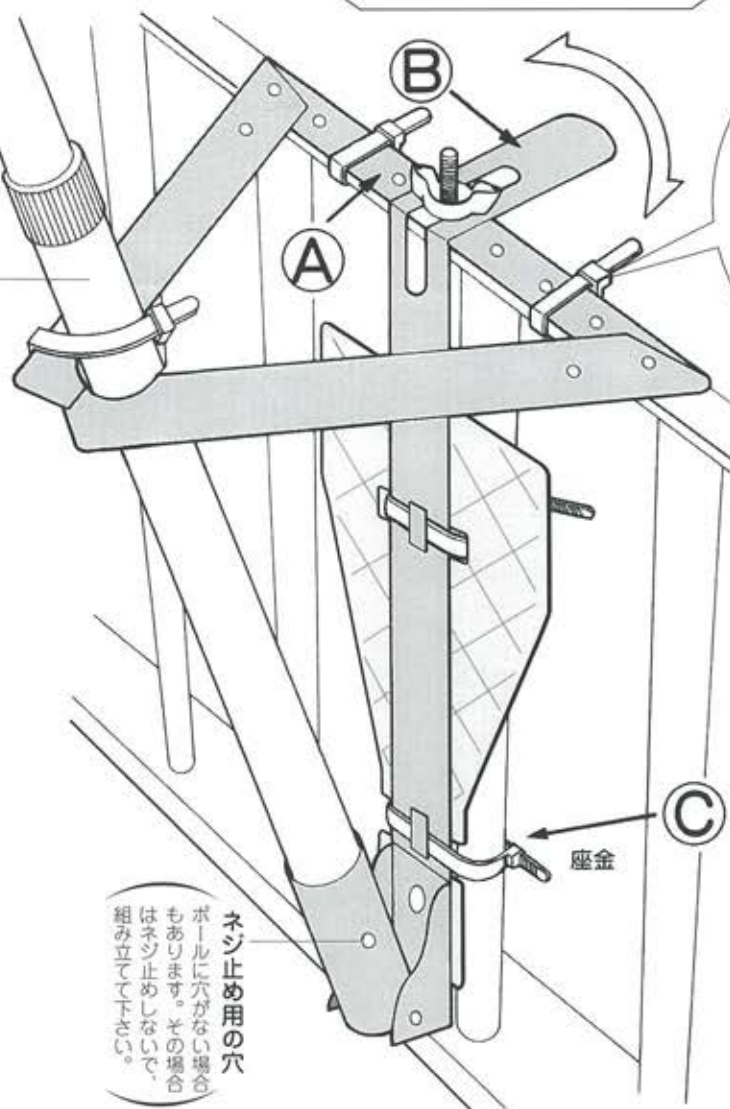
窓や屋上から外に突き出して鯉のぼりを立てられる時、電線に触れないよう充分ご注意ください。
 シーズン終了後、回転球部分はできるだけ組立てたまま保存して下さい。

鯉のぼり用ポールホルダー

PAT. P

製品のご使用方法

※鯉のぼりポールとポールホルダーの三角の先端部を
ビニールタイ又は紐で結びつけて下さい。



自由な取外しができる…リビートタイのメカニズム、ナイロンの一体成型品ですが、カム部が動くように設計され、ロックを外す事が容易にできます。

柵の上の手すりに(A)のコーナーをあてて、(B)を手すりに合わせて折り曲げ仮止めしてタテ柱に(C)の部分をビニールタイで止めます。手すりとホルダーを固定する時は添付のビニールタイで結びます。ぎざぎざが内側です。図のようにとりはずしが出来ます。

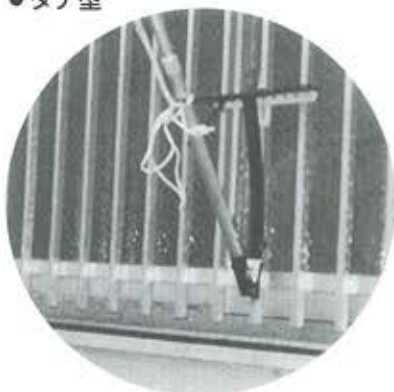
※ビニールタイが足りないときは、あり合わせの紐、針金で固定してください。

安全性を高めるため添付の白いひも(1m)でタテ柱と金具をしっかり結びつけて下さい。

ネジ止め用の穴
ポールに穴がない場合
もあります。その場合
はネジ止めしないで、
組み立てて下さい。

※風速10m以上の強風の時は鯉をはずして下さい。金具が曲がる恐れがあります。

●タテ型



●ヨコ型



●飾り金具型

